

- Tilting Open-Hearth Furnace. *E. V. Tretia-kow, et al.* pp. 513~516
- About Oxidation of Molten Steel out of the Furnace. *N. S. Mikhailets.* pp. 517~519
- A New Method of Deoxidation and Desulfurization of Steel with Improvement of its Quality. *V. A. Skachko, et al.* p. 520
- Dependence of the Aluminothermic Process Temperature upon the Specific Heat. *V. A. Bogoliubov.* pp. 528~530
- About Rational Roll Pass Design for Rails. *A. M. Karpunin.* pp. 531~535
- The Rational Method of the Flat Ingot Fabrication. *I. D. Kuzema.* pp. 536~540
- A Statistical Method of Operation Control in Tube Production. *I. M. Ludensky.* pp. 541~543
- Application of Roller Passes at Rolling Large Sections. *M. V. Shuralev, et al.* pp. 544~547

### 国内最近刊行誌参考記事目次

#### —学協会誌—

#### 日本金属学会誌 21 (1957) 9

転り軸受用滲炭鋼 (I) 残留応力の測定ならびにその

- 変形態におよぼす影響. 吉田 亨...528~531
- Ms 点以下の温度における鋼の恒温度変態について. 大和久重雄, 外...531~535
- 鋼材のひびわれ疵防止に関する研究 (I) 加熱条件, スケール生成量および鋼材中の不純元素がひびわれ疵におよぼす影響. 大竹 正, 外...536~540
- 鋼線の残留応力 (I) 西岡多三郎...540~544
- アルミニウム被覆鑄鉄の耐酸化性および耐成長性について. 嵯峨卓郎, 外...548~551
- 鑄物 29 (1957) 10
- カルシウム鑄鉄の研究 (I) 溶鉄に対するカルシウムの作用. 丸山益輝, 外...694~702
- キューボラの羽口の研究 (II) 突出水冷羽口. 石川 潔 外...702~707
- 計測 7 (1957) 10
- 鉄鋼工業における計器操業. 角田辰亥, 外...570~575
- 会社刊行誌—
- 日立評論 39 (1957) 10
- 高炭素—高バナジウム高速度鋼の切削耐久力におよぼす Zr および B+Ti の影響. 小柴定雄, 外...1197~1199
- 耐火材料 No. 76 (1957)
- 電気炉における塩基性耐火物の使用状況. 高良義郎...14~20

1359 頁よりつゞく (特許記事)

特許出願公告 (昭和 32—10—7)

- 昭 32—8601 廻転鑄解製鍊炉 (坂本源一) 同人  
坩堝用炉体をギヤ機構により廻転自在に設置すると共に坩堝の外周に風室を設け, かつ風室と炉内を上下数段に穿つた風孔により連通し風室内において風孔部に空気取入用の受体を設け, さらに風室の下部に連管を固着し, これを送風管に対し廻転自在に装着したもの.
- 昭 32—8604 鉄線, 鋼線, 鉄合金線等の製造方法 (日野芳三) 南海製線鋼索KK  
線を液体研磨したのち引伸す方法.
- 昭 32—8605 鉄類にアルミニウムを溶着被覆する方法 (大沢久雄) 石田立雄  
(略)
- 特許出願公告 (昭和 32—10—18)
- 昭 32—8855 鑄鉄炉羽口の自動風量調節装置 (島田要吾) KK日立製作所  
外筒内に内筒を廻転自在に保持し, かつ内筒に復元用のバネを作用させ内筒と外筒との円周上に空気取入口を設け, 内筒に設けた羽根が空気取入口から吹込まれる空気の風圧を受けて内筒を廻転させ空気取入口の開口面積を変化させるようにしたもの.
- 昭 32—8858 衝撃によつて表面硬度が大きくなる鑄接鋼 (ウイリアム・トマス・デイロング外1)  
ウエルクツオイグマシネンフアブリーク・エールリコン・ビュールレ・ウント・コンパニー (瑞西)  
(略)
- 昭 32—8859 共晶黒鉛組織或いはこれと類似の微細黒鉛組織を有する鑄鉄鑄物を製造する方法 (沢村宏) 同人  
(略)
- 昭 32—8860 黒心可鍛鑄鉄の製造法 (久保 要) 同人  
密閉容器中において白鉄鑄物を加熱しその地鉄中の酸素を分離または遊離し該密閉器内を減圧乃至真空中に短時間連通せしめて分離炭素を排除せしめた後 500~600°C で焼鈍する方法.

## — 特 許 記 事 —

最近の製鉄鋼業界に於ける發明

- | 公告番号      | 発明の名称  | (發明者)          | 出願人                 |
|-----------|--|----------------|---------------------|
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—24)  |                |                     |
| 昭 32—8052 | 原鈹より 18-8 不銹鋼の製造法<br>ニッケル鈹石、クロム鈹石とから得られる不銹鋼の組成として、ほぼクロム 18、ニッケル 8 の割合となる如く配合して過剰の炭素剤を加え過剰の珪素の存在のもとに溶解炉で溶解して低炭素、高珪素ニッケルクロム鉄を得、次にこれに鉄鈹石、クロム鈹の如き酸化鉄で脱珪素を行う方法。                     | (堀井太郎)         | 同人                  |
| 昭 32—8053 | 高抗張力、高比例限を有する不銹鋼パネ材料の製造法<br>ニッケル当量—クロム当量が 17—13, 9—13, 6—17, 12—25, および 12—19.5 の各点で囲まれる範囲内の組成を有する不銹鋼を完全オーステナイトの温度から水焼入し、これを常温加工したうえ 100—500°C の温度で加熱処理する方法。                   | (岡田実外 3)       | 同人                  |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—25)  |                |                     |
| 昭 32—8151 | 砂鉄または含チタン鉄鈹から鉄、チタン、ヴァナジウムおよび燐を抽出する方法<br>(略)  | (向山幹夫)         | 同人                  |
| 昭 32—8156 | 液状状態における鉄材料を処理する装置<br>ゲーテホツフヌングスヒユツテ・ステルクラード・アリチエンゲゼルシャフト(独)<br>(略)  | (ギユンテル・ケプテ外 1) |                     |
| 昭 32—8157 | 高純度クロム鉄の製造法<br>クロム鉄鈹石中に含まれている炭素、燐等の不純物の還元剤を加え、上記不純物をほとんど還元含有したクロム鉄を製し、鈹石中に残る酸化クロムおよび酸化鉄を鈹滓中に残留させ、これを上記還元生成させたクロム鉄と比重差により分離した後前記鈹滓中に還元剤を加え加熱溶解して酸化クロムおよび鉄を還元して純度の高いクロム鉄を製造する方法。 | (宮崎五夫)         | 同人                  |
| 昭 32—8159 | 鉄と炭素の他に珪素、アルミニウム、クロムおよびマンガンの主成分とする低合金鋼または低合金鋼製品の製造法<br>(ユーージェーヌ・エム・ヘルツオーグ)<br>ソシエテ・デ・アシエリー・ド・ボンペイ(仏)   |                |                     |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—27)  |                |                     |
| 昭 32—8254 | 回転炉による低燐鉄の製造法<br>回転炉に溶鉄を装入し毎分 5—50 回転させ炉内温度を 1300°C 附近となる如く、瓦斯または液体燃料、或いは電弧で加熱しつつ鉄鈹石、スケール、生石灰、螢石、ソーダ灰等を配合投入して、溶鉄中の燐分を酸化して溶滓中に移行させる方法。  | (村田政治)         | 同人                  |
| 昭 32—8257 | 鑄造用中子および鑄型<br>(略)  | (山田 博)         | KK荏原製作所             |
| 昭 32—8261 | 鉄鋼の脱炭処理法<br>鉄鋼を有機珪素化合物の単量体あるいは重合体と共存の状態においてその分解点以上の高温に加熱し鉄鋼表面の脱炭を行う方法。   | (深山哲男)         | 東京芝浦電気KK            |
| 昭 32—8260 | 亜鉛鍍金鉄板における表面模様顕出装置<br>小孔を列設した廻転胴を排気装置に連結し、空気の吸引力により亜鉛附着鉄板を吸いつけながら回転させるようにしたもの。   | (稲松誠一郎)        | 光陽鍍金工業KK            |
|           | 特許出願公告 (昭和 32—9—30)  |                |                     |
| 昭 32—8401 | 浮游選鈹に対する条件附与方法<br>(略)  | (村岡貞勝外 2)      | 日本鈹業KK              |
| 昭 32—8403 | 鉄鈹石の精鍊法<br>溶鈹炉をサイクロン型に構成しこれに熱氣を旋回導入し同時に鉄鈹石粉末、および炭素粉末、溶剤粉末等を旋回熱氣中に混じて空間においてその加熱還元溶解を進行せしめ溶融物は落下または炉壁に沿つて降下せしめ生成ガスはサイクロン抽出管により導出させる方法。   | (野瀬幸雄)         | 同人                  |
| 昭 32—8404 | 金属特に圧力の下に鉄を鑄造する装置<br>(略)   | (オットー・ヴェーベル)   |                     |
| 昭 32—8405 | 鉄或いは鉄合金に所期の金属を浸透合金させる方法<br>(略)   | (泉 量一)         | 同人<br>(以下1358頁へつゞく) |